



# LPC800 : 32ビットArm® Cortex®-M0+ベースの低コストMCU

## LPC80X

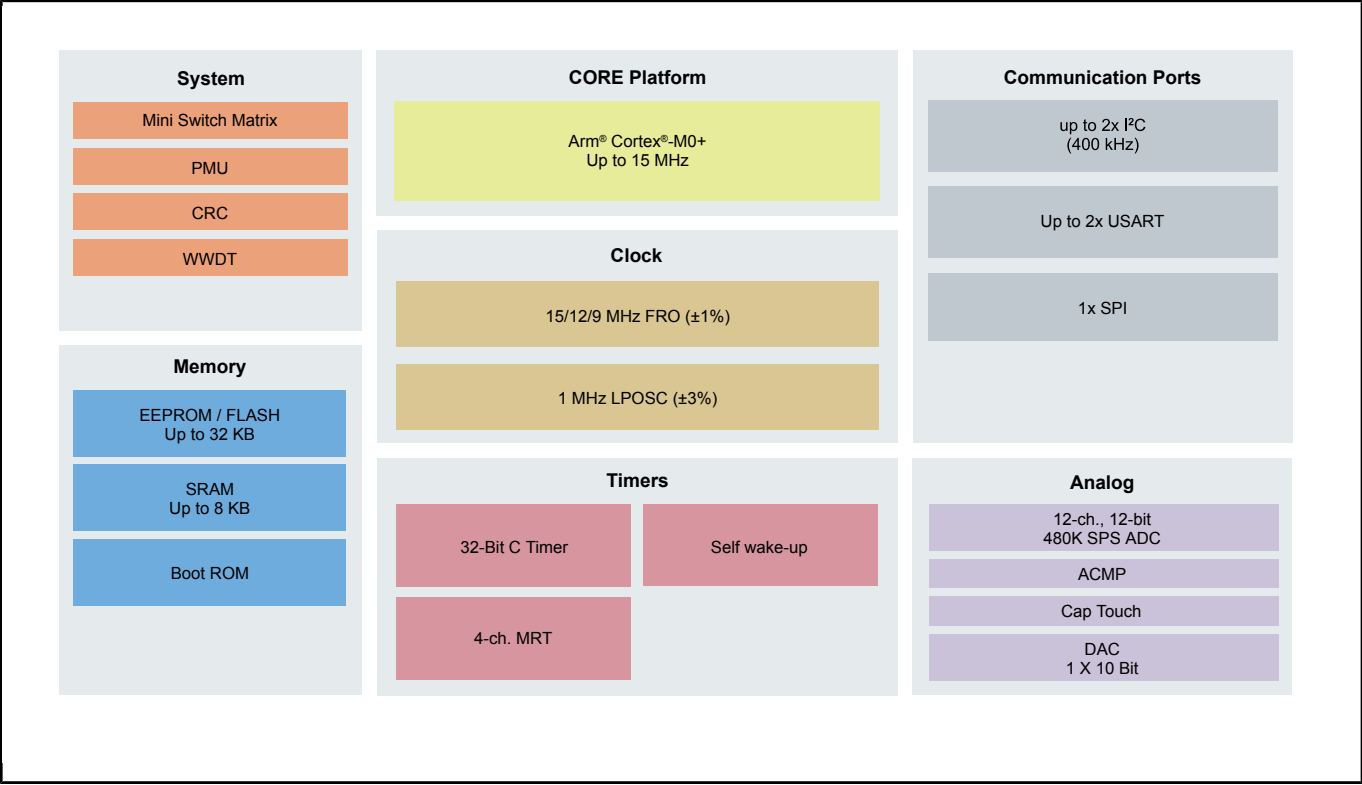
Last Updated: Dec 16, 2024

LPC80xは、最大15 MHzのCPU周波数で動作する、費用対効果の高いArm Cortex-M0+ベースの32ビットMCUファミリです。LPC80x MCUファミリは、最大32 KBのフラッシュ・メモリと最大4 KBのSRAMをサポートします。

このファミリは、消費電力を最適化したコア、広く利用されている小型パッケージ、独立した電源レールによるレベル・シフト・オプションを備えています。LPC80xを補完するペリフェラルには、CRCエンジン、I<sup>2</sup>Cバス・インターフェース、最大2つのUSART、1つのSPIインターフェース、静電容量式タッチ・インターフェース（キャップ・タッチ）、1つのマルチレート・タイマ、セルフ・ウェイクアップ・タイマ、1つの汎用32ビット・カウンタ/タイマ、1つの12ビットADC、1つの10ビットDAC、1つのアナログ・コンパレータ、スイッチ・マトリックスにより機能が設定可能なI/Oポート、入力パターン・マッチ・エンジン、プログラマブル・ロジック・ユニット（PLU）、および最大30本の汎用I/Oピンが含まれます。

このデバイスは、Kinetis、LPC、i.MX RTマイクロコントローラ向けの無償ソフトウェア開発ツールを包括的にまとめてセットにした、NXPのMCUXpressoソフトウェアとツールによって完全にサポートされています。MCUXpressoのSDKには、Keil MDKおよびIAR EWARM向けのプロジェクト・ファイルも含まれています。

# LPC80x MCU Block Diagram



View additional information for [LPC800 : 32ビットArm® Cortex®-M0+ベースの低コストMCU](#).

**Note:** The information on this document is subject to change without notice.